



## 人間福祉学部 *School of Human Welfare Studies*

社会福祉学科	実践的な学びを通して未来の福祉を担い、優れたソーシャルワーカーを育成
社会起業学科	グローバルに、ローカルに、社会の課題を解決する社会起業家を育成
人間科学科	「こころ」と「身体」の両面から人々を支える人材を育成

## 人間福祉研究科 *Graduate School of Human Welfare Studies*

人間福祉専攻	「福祉」にもっとイノベティブ視点を。広く、深く、人と社会を探究する。
--------	------------------------------------



**関西学院大学** 人間福祉学部・人間福祉研究科  
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY School & Graduate School of Human Welfare Studies

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

Web [https://www.kwansei.ac.jp/s\\_hws/](https://www.kwansei.ac.jp/s_hws/)

ターミナル  
ケア

介護の時代

認知症の方との  
コミュニケーション  
方法

食の工夫

三大介護の  
あり方

介護職の  
イメージを  
変える

地域貢献から  
地域づくりへ

第19回 気づきを築くユニットケア

# 全国実践研究フォーラム

2020年3月14日(土)・15日(日)

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス  
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

生活環境づくり

特別部門

施設からの実践提案

人材育成  
と  
マネジメント

多職種との  
連携



「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」は、2001年に岡山県笠岡市で「全国実践者セミナー」としてスタートし、これまで全18回が開催され、毎回多数の実践現場から、日々の取り組みが発表されてきました。ひとくちにユニットケアと言っても、その取り組みの内容は施設によって実にさまざまです。既存施設を活用しながら、試行錯誤を重ねてようやくユニットケアに至ったという取り組み発表もあります。

このセミナーは、「ユニットケアの基本は現場の実践にある」との考えから、現場のスタッフがケアのあり方やスタッフの育成、施設と地域などの実践をまとめ、伝え合い、交わり合い、より良いものにしていく場として開催します。このセミナーでの発表を機に、「お年よりの表情が変わった」「職員が変わった」「ケアが変わった」など、数多くの感想が寄せられています。

一方、さまざまな課題に囲まれた現在のケアの現場環境は、ユニットケアを生んだ20年ほど前の状況と通じるところがあります。今、再び現場に立脚したユニットケアの源流を求めるものとして、大会事務局ではなく、現場の施設がテーマを設定し実践発表者と双方向で学び合い、高め合い、新たな現場発信を目指す部門を設けました。

全国の実践を発表者と参加者がともに学び、考え合い、さらに発信する場とすることを目的とし、関西学院大学で開催します。

主催：気づきを築くユニットケア全国実践研究フォーラム実行委員会

共催：関西学院大学人間福祉学部／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会／小規模多機能ホーム研究会／地域共生ケア研究会

後援：一般社団法人 日本認知症ケア学会

ユニットケア研究会

検索

認知症ケア専門士単位 3単位

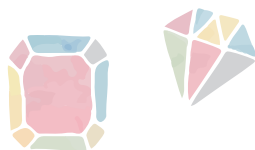
実践発表者には発表者単位としてさらに1単位加算されます。

# 1日目 3月14日(土)

## 実践発表タイムテーブル

11:50~12:00 開 会  
12:00~14:05 実践リレー①(5発表)  
14:05~14:20 休 憩  
14:20~16:25 実践リレー②(5発表)  
16:25~16:40 休 憩  
16:40~17:55 実践リレー③(3発表)

抄録・フェイスシートデータは、  
本会ホームページから、参加者自身で事前にダウンロードして  
持参いただく形式となります。  
なお、当日資料には抄録・フェイスシートは掲載ませんが、  
大会当日は当日資料とともにデータ収録したCD-Rを  
お渡しいたします。



## 実践発表テーマ

### 第1部門

**この時代に私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの取り組みで変わった施設ケア**  
ユニットケアに取り組むことになったきっかけや、取り組みのなかで失敗してしまったこと、悩んだことなどの体験談、また取り組みから気づいたことや見てきたことなどについて発表します。

### 第2部門

**さまざまな基本基礎の見直しや一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫**  
さまざまな基本基礎の見直しや一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫  
ユニットケアで3大介護(食事・入浴・排泄の介護)はどのように変わるのか。3大介護にまつわる苦労や工夫について発表します。

### 第3部門

**“食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし**  
食事づくりや場づくり、買い物や外食、栄養マネジメントや口腔ケアなど、その人らしい豊かな暮らしを目指す取り組みを発表します。

### 第4部門

**これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり**  
豊かに暮らすためには生活環境も欠かすことのできない要素の一つです。  
これまでに暮らしてきた環境をできる限り変えないための地域とのつながりや施設の設えの工夫などを発表します。

### 第5部門

**地域貢献から地域づくりへの構想・挑戦！介護者家族と地域との協働で実現する、その人らしい暮らし方**  
利用者に身近な存在である家族はかけがえのないたいせつな存在であり、ご本人が望まれるその人らしい暮らしとその人生を実現するための、家族との関係づくりや、地域の方々との協働・連携の取り組みについて発表します。

### 第6部門

**認知症の方とのコミュニケーションの工夫**  
認知症の方に対して尊敬と共感をもって関わるには？認知症の方の行動に対する理解や悩み、日常生活での見守りなど、ケアに関する工夫や取り組みなどを発表します。

### 第7部門

**究極のテーマ「ターミナルケア」から学んだこと、考えたこと、伝えたいこと**  
施設は、日々暮らしをおくるだけではなく、人生の最期の場となることもあります。「施設での看取りのあり方」「医療機関との連携」「看取ることとおして築かれた家族との絆」など、施設におけるターミナルケアを発表します。

### 第8部門

**介護や現場を、魅力と興味あるものへ！職員同士のチームケアや多職種との連携**  
一人ひとりの暮らしを支えるには、その方向性や情報を共有するチームの構築や職種を超えた連携が必要不可欠です。時には、施設を超えた協働や連携も必要となります。ケアに関わる専門職同士が協力しながら、利用者の暮らしを、より豊かにする取り組みの創意工夫を発表します。

### 第9部門

**離職を防ぐ、辞めないし辞めなくていい！施設の人材確保やマネジメント、職場の環境づくりについて**  
昨今、ケアの現場では人出不足が深刻な問題となっています。現場経験や知識が少ない初任者に、ユニットケアの考え方をどのように伝えていくか。職員が魅力を感じ、働き続けてくれる職場とは？募集から待遇の改善、辞めさせない創意工夫など職場の環境づくりを発表します。

### 第10部門

**人材育成、育ちと育ての模索と挑戦！スタッフの育成に工夫したこと、苦労したこと**  
よりよいケアを提供すること、現場のさまざまな事情でリーダーや管理者は思い悩みます。いまの職員のやる気とやりがいを引き出すにはどうしたらよいか。現場のスタッフの資質をどう伸ばしていくか、人材育成のための創意工夫や体制づくりについて発表します。

### 特別部門

**現場発信！施設からの実践提案シーズン2**  
介護のイメージを変える！私たちはこうして変えようとしている！あらゆる問題に対してどう工夫し、乗り越えてきたのか。ユニットケアの生命線でもある「現場発」の実践発表を行います。

- 定 員 500人（※定員になり次第、締め切らせていただきます）
- 参加費 ■一般参加費 15,000円  
■実践発表者 13,000円  
※実践発表者は、1発表2人まで割引適用。
- 参加申込締切 2020年3月12日(木)

### 参加にあたっての留意点

1日目の実践発表は、各教室にて自由にお聞きいただくことになります。  
つきましては、参加者が多い教室では立ち見となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。参加者の皆さまには、申込締切後、教室別の実践発表一覧をお送りいたします。一覧を参考に、各教室を移動してお聞きいただくことになります。  
なお、2日目の分科会につきましては、希望される分科会を選び、○印をご記入ください。

# 2日目 3月15日(日)

## 分科会プログラム



### A1

10:00 【アンコール報告】  
12:00 ～好評だった発表のあれから1年、その後の展開を報告します～  
★実践報告① I♡(ラブ)NY(入浴) ～私たちが入りたいと思えるお風呂へ～  
特別養護老人老人ホーム セとうちの郷(岡山県) 介護職員 福本 文香 介護サプリーダー 原 彩華  
★実践報告② 家族、チームケア、その人らしい最期を迎えるために  
特別養護老人ホーム 清光園(北海道) ケアマネージャー ミツ井 香葉絵  
★実践報告③ Welcome to our village! ―村をのぞいてみませんか―  
特別養護老人ホーム花みづき寮(群馬県) 採用担当 黛 尚  
★コーディネーター 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代表 武田 和典

12:00~13:00 昼 食・休 憩

### A2

13:00 【連続実践企画】  
15:00 利用者の思いに気づく！「動き出しは本人から」を学ぶ。  
★講 師 日本医療大学 リハビリテーション学科 教授 大堀 具視

### B1

10:00 【管理者向け講座1】  
12:00 その非常時に備えて！高齢者福祉施設におけるBCP(事業継続計画)とは  
★講 師 佛教大学 講師 後藤 至功

12:00~13:00 昼 食・休 憩

### B2

13:00 【管理者向け講座2】  
15:00 地域共生社会推進検討会の最終取りまとめを読み解く。  
★講 師 厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 地域共生社会推進室 室長 吉田 昌司  
関西学院大学 教授 藤井博志ほか



Let's make the life of facilities

本大会よりFAX申込みではなく、下記参加登録サイトでの申込みとなります。

URL: <https://amarys-jtb.jp/unitcare2020/>

最新の発表タイムテーブルや情報は大会ホームページから

ダウンロード可能です。 [ユニットケア研究会](#) [検索](#)



### 申し込みに関するお問い合わせ

JTBビジネスネットワーク・JTB東北ECデスク  
(ご連絡いただくのは東京の事務所となっております)  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル6F  
JTBビジネスネットワーク気付 JTB東北ECデスク  
「第19回気づきを築くユニットケア 全国実践研究フォーラム係」あて  
電話: 0120-989-960 FAX: 0120-937-224  
E-mail: [tohoku-ec@jbn.jtb.jp](mailto:tohoku-ec@jbn.jtb.jp) (営業時間: 土日祝除く平日 9:30~17:30)

### 内容に関するお問い合わせ

気づきを築くユニットケア全国実践研究フォーラム実行委員会  
事務局／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 担当: 田村  
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30  
シンエイ木町ビル1階  
TEL: 022-727-8732 FAX: 022-727-8737  
E-Mail: [unit@clc-japan.com](mailto:unit@clc-japan.com)  
[大会Web](http://www.clc-japan.com/unit_care/) [http://www.clc-japan.com/unit\\_care/](http://www.clc-japan.com/unit_care/)